

研究機関：広島大学

研究課題名	国公立大学病院における医療関連感染症についての多施設 point prevalence survey
研究責任者名	広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜
研究期間	平成28年7月6日(倫理委員会承認後)～平成30年3月31日
対象者	平成28年の7月1日から10月31日までの間の平日のある1日を調査日とし、この日の朝8時の時点で入院している全入院患者さん
意義・目的	国公立大学における医療関連感染症についての多施設 point prevalence survey (PPS:ある一時点における全入院患者さんを対象とした疫学調査)を行うことで、当院を含めた参加施設での院内感染の現状把握と、課題の抽出に役立つデータが得られると考えています。その一方で、日本の大学病院における院内感染の疫学データとして報告することを目標としています。
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は、入院日、入院病棟、主科、年齢、性別、併存症、中心静脈カテーテルの有無、末梢静脈/A-lineの有無、気管挿管/気管切開の有無、尿道カテーテルの有無、3ヶ月以内の耐性菌検出歴(ESBL産生菌腸内細菌科細菌、MRSA、Toxin陽性<i>C. difficile</i>、VRE、CRE、VISA/VRSA、MDRP、MDRA)、抗微生物薬の使用の有無(あれば薬品名、投与経路、対象目的)、活動性の医療関連感染症の有無(存在する場合は疾患名、デバイス関連の有無、血流感染合併の有無、起因微生物と耐性の有無)です。</p> <p>また、点滴留置・尿道カテーテル・気管挿管の有無について、カルテのみから得られない情報については、適宜病棟の看護師から聴き取りを行い情報を収集します。当日中にカルテレビューが行えない患者さんについては、後日同時点の情報を収集します。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)</p>
共同研究機関	<p>名古屋大学医学部附属病院</p> <p>京都大学医学部附属病院</p> <p>奈良県立医科大学 感染症センター</p> <p>名古屋大学医学部附属病院に情報を集め解析します。</p>
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>Te l : 082-257-1613</p> <p>広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜</p>